

## 特別会計その他

# 国民健康保険特別会計

<p>【番号】108【施策体系】I 正確で公平な税の徴収</p> <hr/> <p>事業費； 11,959 千円</p> <p>財源内訳； 一般被保険者保険税延滞金 11,959 千円</p>	<p>【事業概要】 (滞納整理の強化)</p> <p>システムを活用した分納管理業務を行うことで、履行状況等の管理が効率化され、効果的な分納管理を実現した。滞納者に対して財産調査を行い財産状況に応じて滞納処分や滞納処分の停止を実施し、早期の滞納解消及び納税秩序の維持を行った。電話催告システムによる迅速かつ効率的な個別催告を行い、早期の納税を促した。</p> <p>【事業成果】 国保税現年分については前年度実績を上回る徴収率を達成することができ、94.2%（前年度 94.1%）となり、滞納繰越分については前年度より下がり、39.4%（同 43.8%）となった。</p>
<p>【番号】109【施策体系】I 国民健康保険税(税率改定)</p>	<p>【事業概要】 国保制度改革による平成 30 年度からの国保広域化を見据え、また、被保険者世帯の現状を鑑みて、保険税の平等割を廃止し、3 方式から 2 方式に改めた。</p> <p>制度改革により財政運営の責任主体が都道府県となり、標準保険税率等を東京都から示されると共に、赤字解消を進めて行く必要があるため、広域化に関する市民への説明会を開催した。</p> <p>【事業成果】 保険税の課税方式について、東京都内の約 84%の市区町村が採用している 2 方式（均等割、所得割）に改正した。</p> <p>制度改革に伴い、①東京都が財政運営の責任主体となること、②国が国保財政に対する支援を拡充すると共に、区市町村は赤字解消計画を立てて、保険税の見直しも必要であること等について、市民説明会で説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者 七生福祉センター 8 人 市役所 505 会議室 4 人</li> <li>・課税実績 平成 29 年度 80,857 円（決算時） 平成 28 年度 80,316 円（税率等改定あり）</li> </ul> <p>平成 28 年 10 月の短時間労働者への社会保険適用拡大の法改正により、国民健康保険被保険者の減少が全国的に続いている。被保険者数減に伴い、課税総額は減少している。</p>

<p>【番号】110【施策体系】Ⅲ 微量アルブミン尿検査事業</p> <hr/> <p>事業費； 7,530 千円</p> <p>財源内訳； 都支出金 3,845 千円</p> <p>一般会計繰入金 3,685 千円</p>	<p>【事業概要】</p> <p>第1期日野市国民健康保険データヘルス計画に基づき、糖尿病性腎症の早期発見・早期医療を目的とした微量アルブミン尿検査を実施した。</p> <p>平成28年度から開始した新規事業であり、平成29年度は尿自動分析装置を導入し、市内49医療機関にて微量アルブミン尿検査を実施した。</p> <p>対象者の条件は、前年度の特定健診結果で「HbA1c 6.0%以上」かつ「尿蛋白ーまたは±」の方であり、対象者の多くは、特定健診結果からは「異常あり」とならない方々である。</p> <p>【事業成果】</p> <p>検査対象者1,962人のうち、1,325人が検査を受診（受診率67.5%）し、このうち65人を治療開始につなげることができた。</p> <p>微量アルブミン尿は、糖尿病性腎症の極早期に現れ、投薬治療により完治することもできることが分かっており、本検査により治療につなげることができた成果は、今後の人工透析患者の減少にもつながる。医療費適正化に向けて大きな一歩といえる。</p>
<p>【番号】111【施策体系】Ⅲ 糖尿病重症化予防事業</p> <hr/> <p>事業費； 7,122 千円</p> <p>財源内訳； 国庫支出金 6,780 千円</p> <p>一般会計繰入金 342 千円</p>	<p>【事業概要】</p> <p>第1期日野市国民健康保険データヘルス計画に基づき、医療レセプト等の分析から、現在糖尿病治療中の患者に対し、保健師等による食事や運動を自身でコントロールしていくことなどを身につけていただくために、委託による糖尿病性腎症重症化予防プログラムを実施した。</p> <p>平成29年度は、平成28年度からの継続分及び平成29年度新規分の面談及び電話による生活指導プログラムを実施した。</p> <p>【事業成果】</p> <p>平成28年度からの継続分については、プログラム対象者189人のうち11人が参加し、4月から7月にかけて電話指導を3回行った。</p> <p>平成29年度新規分については、プログラム参加対象者552人のうち16人が参加し、11月から3月にかけて面談指導2回、電話指導を5回行った。</p> <p>参加者の多数が、食事制限や運動等の糖尿病性腎症重症化予防プログラムで掲げた目標を達成することができた。</p> <p>本プログラムにより生活習慣の改善につなげることにできた成果は、今後の人工透析患者の減少につながり、医療費適正化に向けて大きな一歩といえる。</p>

<p>【番号】112【施策体系】Ⅲ データヘルス事業</p>	<p>【事業概要】 医療費レセプト等の分析により、健康課題を発見し、解決のための方法を日野市国民健康保険データヘルス計画にまとめ、データに基づいた効果的且つ効率的な保健事業を推進していく。毎年度、国保連合会が主催する評価委員会の評価を受け、PDCAサイクルを回す。平成29年度は、平成30年度から平成35年度の第2期データヘルス計画の策定と、第3期特定健康診査実施計画の策定年度であった。主に平成28年度のデータ分析結果より、第1期計画の成果を考察し、継続・拡充する事業、見直す事業、新規事業を整理した。それらを踏まえて、第2期データヘルス計画及び第3期特定健診実施計画をまとめた。</p> <p>【事業成果】 新規事業（重複頻回受診対策・重複服薬対策・残薬バック）を含めた第2期データヘルス計画及び第3期特定健診実施計画を策定した。</p> <p>①ジェネリック医薬品の切替効果額 平成29年度（11か月分）1億3,264万4千円 平成28年度 1億2,281万4千円</p> <p>②医療機関受診勧奨（異常値放置者対策） 平成29年度 ・10月末の未受診者496人に送付、254人が受診 ・3月末に勧奨後の未受診者242人に再勧奨実施 平成28年度 ・10月末の未受診者503人に送付 （再勧奨は未実施）</p> <p>③特定健診受診勧奨（自動音声による架電事業） 平成29年度 架電率82.8%（架電数4,635件） 架電後の受診率25.0% 電話とはがき両方の勧奨後の受診率34.4% 平成28年度 架電率66.3%（架電数3,067件） 架電後の受診率20.5%</p>
<p>事業費； 27,357千円</p> <p>財源内訳； 国庫支出金 8,991千円 一般会計繰入金 18,366千円</p>	

<p>【番号】113【施策体系】Ⅲ 国保健康講座事業</p>	<p>【事業概要】 主に市内の医師等を講師に招き、市民の方に良い生活習慣を身につけていただくために、国保健康講座をイオンモールで2回、カワセミハウスで1回、七生福祉センターで1回の計4回開催した。</p>
<p>事業費； 162 千円 財源内訳； 一般会計繰入金 162 千円</p>	<p>【事業成果】</p> <p>①パフォーマンスマネジメント ～ストレス解消のための行動分析学～ 会場：イオンモール 参加者：50人</p> <p>②あなたの血圧大丈夫～高血圧を予防する生活習慣とは～ 会場：イオンモール 参加者：88人</p> <p>③ノルディックウォーキングで全身エクササイズ 会場：カワセミハウス 参加者：28人</p> <p>④生活習慣病予防のために今できること～食事と生活面から～ 会場：七生福祉センター 参加者：25人 ・参加者満足度（アンケートより） 平成29年度 93.1% 平成28年度 88.8%</p> <p>※約9割の講座参加者から「日々の生活に活かせる」とのアンケート結果が得られ、自身の健康に関心を持っていただくとともに、良い生活習慣を身につけるきっかけになったといえる。</p>

# 土地区画整理事業特別会計

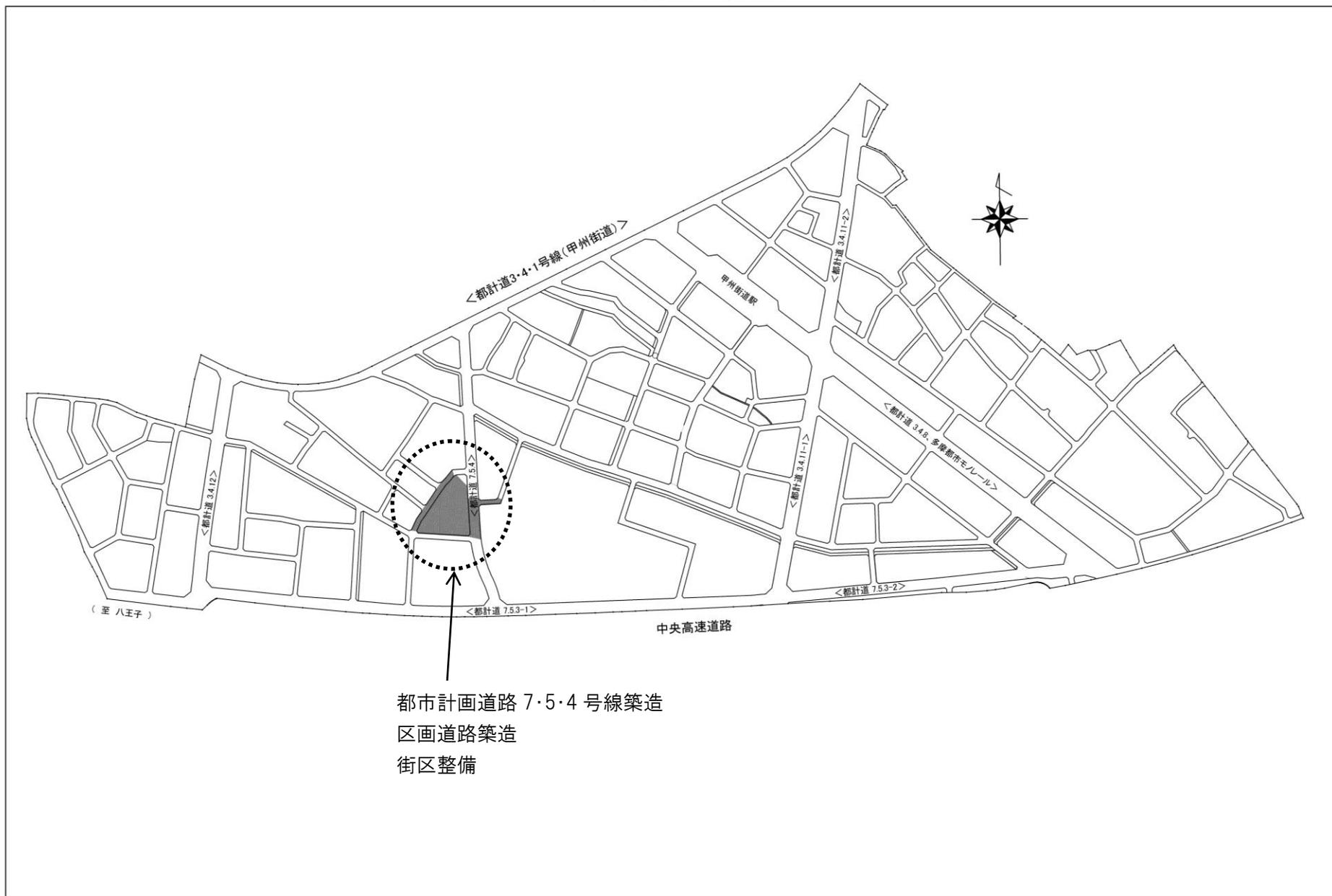
<p>【番号】114【施策体系】Ⅶ 豊田南土地区画整理事業</p> <hr/> <p>事業費； 666,532 千円</p> <p>財源内訳； 国庫支出金 119,650 千円</p> <p>都支出金 60,525 千円</p> <p>保留地処分金 118,118 千円</p> <p>一般会計繰入金 128,894 千円</p> <p>基金繰入金 152,853 千円</p> <p>繰越金 86,383 千円</p> <p>基金利子 109 千円</p>	<p>【事業概要】 都市計画道路 3・4・15 号線築造工事 (幅員 16m 延長 33.2m)</p> <p>区画道路築造工事 1 件 (幅員 6m 延長 72.5m)</p> <p>整地工事 574 m<sup>2</sup></p> <p>建物移転 7 棟</p> <p>【事業成果】 事業 5 ヶ年計画に基づき、豊田駅南口周辺の都市計画道路 3・4・15 号線および区画道路の築造と建物移転を行い、現在暫定的に開放している駅前広場の本整備と駅東側街区の整備に向け事業が進捗した。</p> <p>平成 29 年度末 事業進捗率 70.1% (平成 29 年度の進捗 1.5%)</p>
<p>【番号】115【施策体系】Ⅶ 万願寺第二土地区画整理事業</p> <hr/> <p>事業費； 396,159 千円</p> <p>財源内訳； 国庫支出金 38,100 千円</p> <p>都支出金 19,050 千円</p> <p>保留地処分金 26,345 千円</p> <p>一般会計繰入金 65,951 千円</p> <p>基金繰入金 166,347 千円</p> <p>繰越金 80,319 千円</p> <p>基金利子 47 千円</p>	<p>【事業概要】 都市計画道路 7・5・4 号線築造工事 (幅員 12m 延長 64.7m)</p> <p>区画道路築造工事 1 件 (幅員 5~6m 延長 119.5m)</p> <p>整地工事 2,724 m<sup>2</sup></p> <p>建物移転 1 棟</p> <p>【事業成果】 事業 5 ヶ年計画に基づき、都市計画道路 7・5・4 号線を築造し、幹線道路のネットワーク化を推進した。 併せて、7・5・4 号線周辺の区画道路築造及び街区整備を行うことにより、土地開発公社用地の処分、市内企業の移転につなげるなど、土地の利活用が進んだ。</p> <p>平成 29 年度末 事業進捗率 54.6% (平成 29 年度の進捗 1.2%)</p>

<p>【番号】116【施策体系】Ⅶ 東町土地区画整理事業</p> <hr/> <p>事業費； 483,032 千円</p> <p>財源内訳； 国庫支出金 175,050 千円 都支出金 87,525 千円 保留地処分金 77,149 千円 一般会計繰入金 127,107 千円 繰越金 16,201 千円</p>	<p>【事業概要】 区画道路築造工事 1 件（幅員 5～9m 延長 194.9m） 整地工事 6,942 ㎡ 建物移転 14 棟</p> <p>【事業成果】 事業 5 カ年計画に基づき、立日橋南詰西側の集団・中断移転を完了させ、木造建物の密集、狭あい道路、低地による排水機能の低さが解消したことにより、地域の防災性、安全性、快適性が向上した。 また、生活道路である区画道路の整備及び周辺の街区整備を進めることにより、良好な宅地を供給した。</p> <p>平成 29 年度末 事業進捗率 61.9% (平成 29 年度の進捗 3.8%)</p>
<p>【番号】117【施策体系】Ⅶ 西平山土地区画整理事業</p> <hr/> <p>事業費； 1,470,415 千円</p> <p>財源内訳； 国庫支出金 931,942 千円 都支出金 85,550 千円 保留地処分金 56,574 千円 一般会計繰入金 358,047 千円 繰越金 38,282 千円 基金利子 20 千円</p>	<p>【事業概要】 区画道路築造工事 4 件（幅員 5～6m 延長 451.4m） 都市計画道路 3・3・2 号線仮設道路築造工事 (幅員 6m 延長 216.2m) 都市計画道路 3・4・24 号線仮設道路築造工事 (幅員 6m 延長 60.0m)</p> <p>整地工事 20,333 ㎡ 建物移転 21 棟</p> <p>【事業成果】 事業 5 カ年計画に基づき、都市計画道路 3・4・24 号線の築造に向けた周辺の街区整備と、都市計画道路 3・3・2 号線用地確保および仮設道路整備を行うことにより、安全な交通の確保を進めた。 また、生活道路である区画道路の整備および周辺の街区整備を行うことにより、良好な宅地を供給した。</p> <p>平成 29 年度末 事業進捗率 41.5% (平成 29 年度の進捗 3.6%)</p>

<p>【番号】118【施策体系】Ⅶ 川辺堀之内土地区画整理事業 助成金</p>	<p>【事業概要】 (助成対象事業) 区画道路築造工事 2件(幅員4~8m 延長214.4m) 整地工事 5,604 m<sup>2</sup></p>
<p>事業費； 85,000 千円 財源内訳； 一般会計繰入金 85,000 千円</p>	<p>(助成対象外事業) 都市計画道路3・3・2号線仮道築造工事 (幅員5~8m 延長128.1m) 建物移転 5棟</p>
	<p>【事業成果】 助成対象事業においては、区画道路の築造及び都市計画道路3・3・2号線に接道する土地の整地工事が行われ、良好な宅地や農地の供給が図られるとともに将来国道の沿道における土地の利活用が進んだ。 組合事業全体においては、都市計画道路3・3・2号線用地に係わる建物移転がすべて完了し、国道20号日野バイパス(延伸)事業用地の確保が図られた。 平成29年度末 事業進捗率 80.6% (平成29年度の進捗 8.3%)</p>

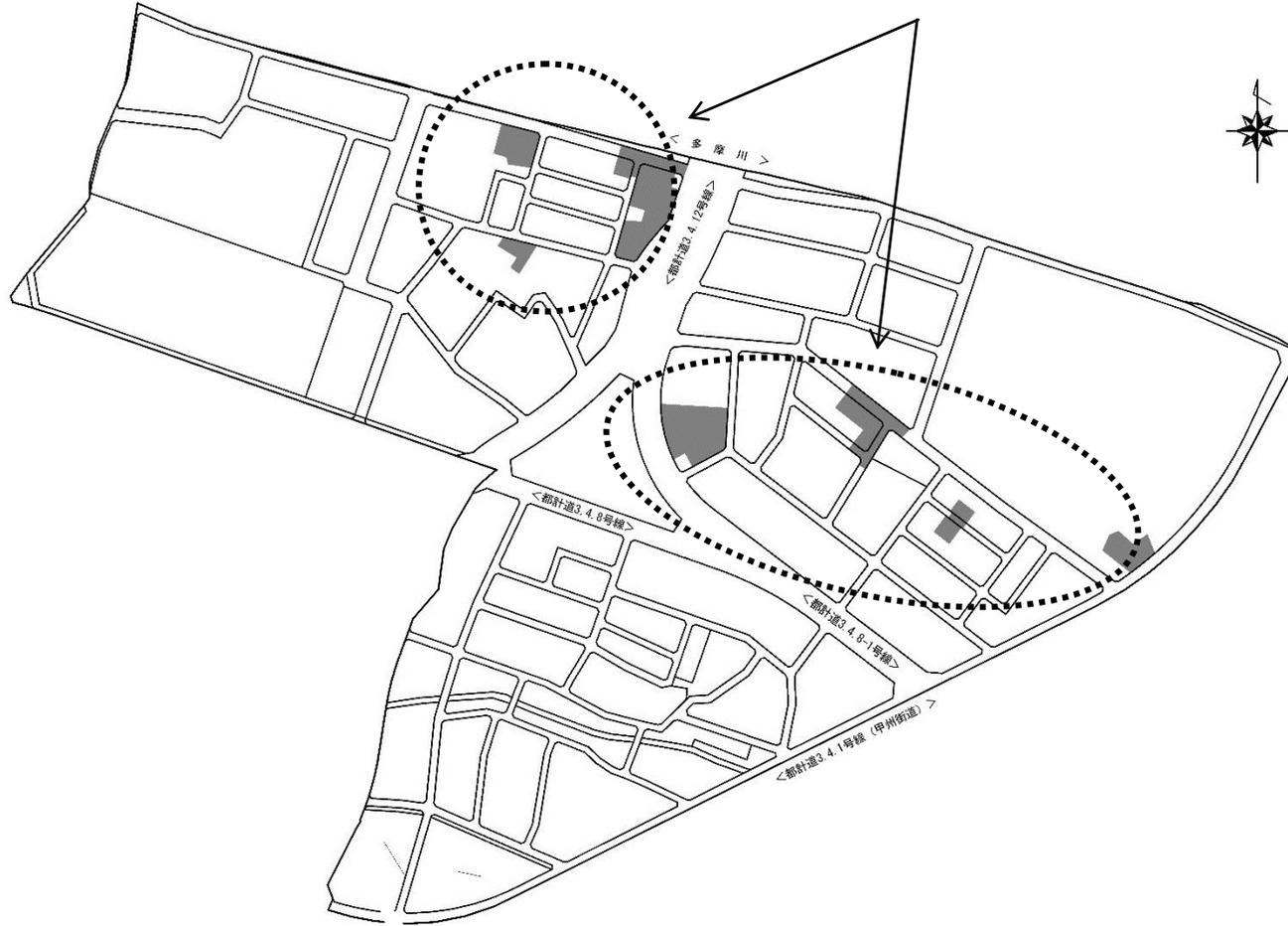


日野都市計画事業万願寺第二土地区画整理事業  
平成29年度施工箇所図

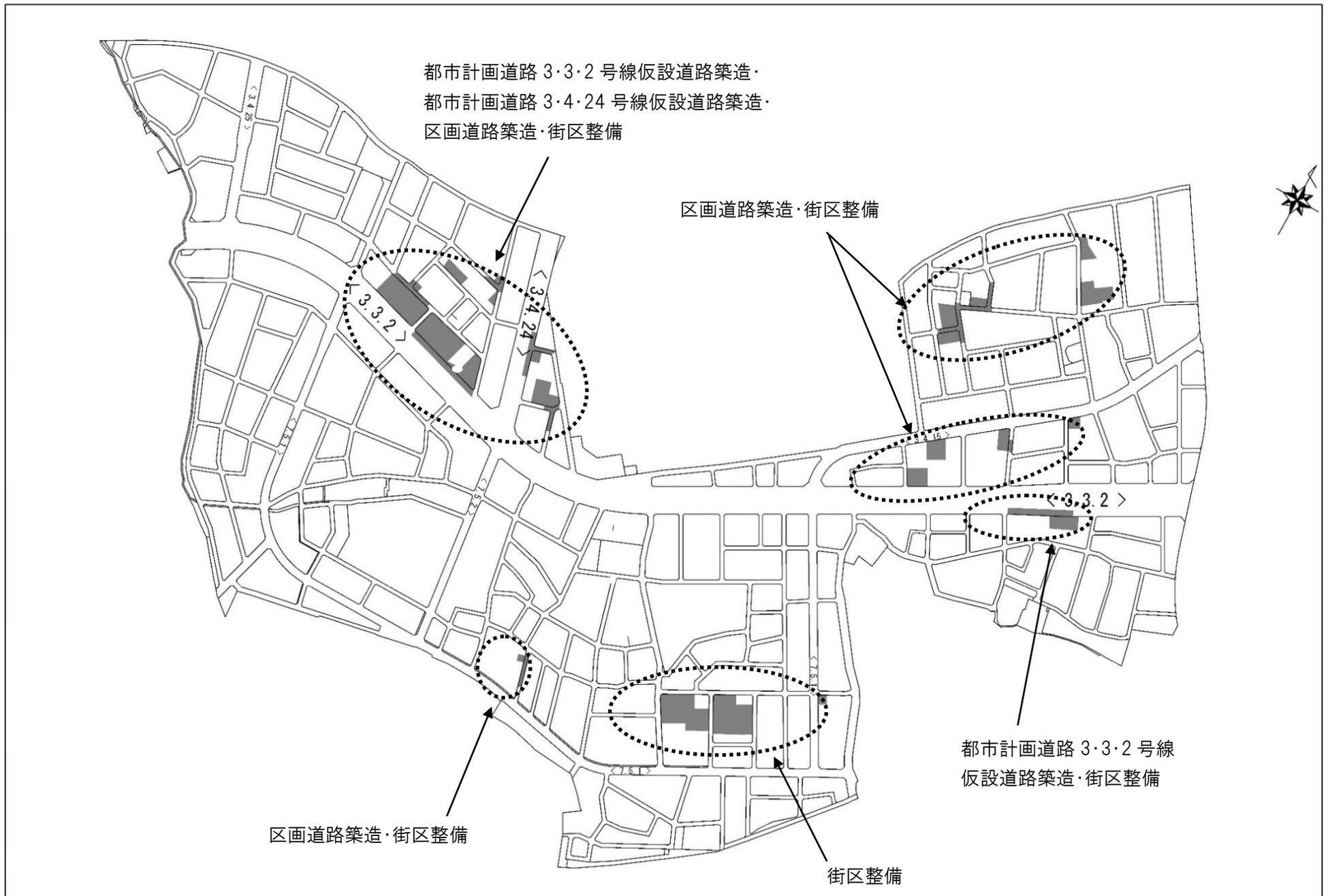


日野都市計画事業東町土地区画整理事業  
平成29年度施工箇所図

区画道路築造・街区整備



日野都市計画事業西平山土地区画整理事業  
平成29年度施工箇所図



# 下水道事業特別会計

<p>【番号】119【施策体系】V 雨水管整備工事</p> <hr/> <p>事業費； 229,579 千円</p> <p>財源内訳； 国庫支出金 83,000 千円</p> <p>都支出金 4,150 千円</p> <p>市債 142,420 千円</p> <p>一般会計繰入金 9 千円</p>	<p>【事業概要】</p> <p>宅地化の進行やゲリラ豪雨の多発化により、旭が丘一丁目地内でしばしば生じている浸水被害を解消するため、既存の旭が丘第一幹線とは別に、新たに東平山第一幹線を整備した。</p> <p>この東平山第一幹線を下流部の西平山地区につなげるため、JR中央線軌道下を推進工にて整備した。なお、軌道下という特殊施工事情のため、整備期間は2カ年度に跨らざるを得ないことから、債務負担行為を設定し、事業期間を平成28～29年度とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所：中央線 豊田・八王子間 44km441m付近</li> <li>・概要：内径2,000mm 路線延長L=46.5m</li> <li>・委託先：東日本旅客鉄道株式会社八王子支社</li> <li>・委託料：229,578,957円（精算額）</li> </ul> <p>【事業成果】</p> <p>①都市計画道路 3. 4. 24号線橋脚工事着手に先立ち、平成29年8月中旬までに、市発注の人孔築造も含めて、現場作業が予定通りに進んだ。</p> <p>②今後、平成31年度末までにJR中央線南側の雨水幹線について、西平山土地区画整理事業にて整備を行い、供用開始へつなげることが可能となった。</p> <p>③雨水幹線供用開始を前提として、平成32年度から2カ年度の予定で旭が丘側未整備区間の整備を行う。これにより、旭が丘一丁目地内の浸水被害を解消し、豊田南・西平山土地区画整理事業地内の雨水管整備の促進を図ることが次の目標となった。</p>
<p>【番号】120【施策体系】V 污水管整備工事</p> <hr/> <p>事業費； 123,674 千円</p> <p>財源内訳； 国庫支出金 7,830 千円</p> <p>都支出金 391 千円</p> <p>市債 115,420 千円</p> <p>一般会計繰入金 33 千円</p>	<p>【事業概要】</p> <p>各家庭や事業所から排出される污水について、流域下水道幹線管渠に接続するための整備を浅川処理区にて行った。</p> <p>&lt;市施工分&gt; ・管渠埋設 内径200mm L=69.0m</p> <p>&lt;東京都都市づくり公社施工分&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管渠埋設 内径200～250mm L=1888.5m</li> <li>・整備面積 合計 6.28ha</li> </ul> <p>【事業成果】</p> <p>①市施工では、都市計画道路「日3. 4. 17号線」整備に伴う歩道への管渠敷設を行った。</p> <p>②東京都都市づくり公社に委託し、日野・日野本町・豊田・東平山・西平山の一部で、土地区画整理事業の街路築造整備に併せた、効率的な管渠布設を行った。</p> <p>これらのことから、供用開始区域の面積は6.28ha増加し、2248.21ha、人口普及率は0.3ポイント増加し、95.5%となった。</p>

<p>【番号】121 【施策体系】V 下水道長寿命化対策・総合地震対策</p>	<p>【事業概要】</p> <p>①下水道長寿命化対策（管路更生） 下水道施設長寿命化事業の一環で、京王平山住宅地の管路更生工事等の一部を実施した。</p>
<p>事業費； 143,294 千円</p>	<p>②下水道長寿命化対策（下水道ストックマネジメント） 長期的な視点で下水道施設全体の老朽化の進展状況を考慮し、優先順位付けを行ったうえで、点検・調査、修繕・改築を実施することで施設管理を最適化していく「下水道ストックマネジメント計画」を策定した。</p>
<p>財源内訳； 国庫支出金 41,570 千円</p>	<p>③総合地震対策 第2次日野市下水道総合地震対策計画に基づき、緊急目標Ⅱ・Ⅲに位置づけられた「避難所等から排水される管路等の耐震化」を行うための実施設計業務を行った。</p>
<p>都支出金 2,078 千円</p>	<p>【事業成果】</p> <p>①下水道長寿命化対策（管路更生） 事業実施の結果、老朽化による施設の破損を原因とする道路陥没及び、汚水排水機能の停止を未然に防ぐことが出来た。</p>
<p>市債 81,360 千円</p>	<p>・管渠更生 内径 250mm L=682m ・マンホール蓋交換 71カ所 取付管改築 80カ所</p>
<p>一般会計繰入金 18,286 千円</p>	<p>②下水道長寿命化対策（下水道ストックマネジメント） 下水道ストックマネジメント計画策定により、下水道施設改築事業に際して必要となる点検調査業務を社会資本整備総合交付金事業として、平成30年度から実施することが可能となった。</p>
	<p>③総合地震対策 平成30年度から予定されている、耐震化工事の実施に反映させることが可能となった。</p>

# 介護保険特別会計

<p>【番号】122【施策体系】Ⅲ 認知症初期集中支援推進 事業</p>	<p>【事業概要】 平成 29 年 6 月に認知症ケアを専門に行う多摩平の森の病院が地域連携型認知症疾患医療センターとして東京都に選定されたことを受け、市は、同病院と連携・協力し、同年 7 月に同病院内に「認知症初期集中支援チーム」を整備した。これにより医療に特化した認知症の支援機能を同病院内に集約し、市内の認知症支援の総合拠点として位置づけることで、認知症の早期発見から診断、治療までの一連の支援やケアを効果的かつ一体的に行うことのできる体制を構築した。</p>
<p>事業費；</p>	<p>なお、一般会計予算ではあるが、同時期に同病院内に認知症専門医への医療相談及び当事者や家族の交流の場として「医療連携型認知症カフェ」も整備している。</p>
<p>1,985 千円</p>	<p>【事業成果】 認知症による様々な問題を抱える支援困難ケースに対する初期段階の包括的、集中的な医療支援体制を構築し、かつ地域包括支援センターや地域連携型認知症疾患医療センター等との緊密な連携を図ることで、認知症の支援体制の強化を図ることができた。</p>
<p>財源内訳；</p>	<p>具体的な成果としては、認知症の診断・治療につながっていなかった 7 人の対象者（支援困難ケース）に医師、看護師、介護職で構成する支援チームが延べ 65 回の訪問支援を実施し、うち 5 人を多摩平の森の病院の外来受診につなげることができた。</p>
<p>国庫支出金</p>	
<p>774 千円</p>	
<p>都支出金</p>	
<p>387 千円</p>	
<p>介護保険料</p>	
<p>436 千円</p>	
<p>地域支援事業費繰入金</p>	
<p>387 千円</p>	
<p>基金繰入金</p>	
<p>1 千円</p>	

# 市立病院事業会計

<p>【番号】123【施策体系】I 新公立病院改革プランに基づく取組 (市立病院における経営健全化推進事業)</p>	<p>【事業概要】 市立病院の経営健全化推進のため、「新公立病院改革プラン(平成28年～平成32年度)」に基づき取組を進めた。 収入向上策として、入院単価改善、外来単価改善、手術部門各分野のワーキンググループやレセプト活用勉強会を定期的に開催し、各課題の改善を進めた。</p>
<p>事業費； 10,358千円 財源内訳； 病院財源 10,358千円</p>	<p>支出抑制として、医療機器整備計画、大規模メンテナンス計画に基づき外部コンサルタントを活用し事業の適正化を図ったほか、人件費比率の改善のため、特殊勤務手当の見直し等を行った。 改革プランの進行管理は、院長と担当事務局との定期会議で行い、経営上の課題分析や、改革プランミーティングを全職員向けに継続して実施し、プランの説明と職員の意識向上を図った。</p>
	<p>【事業成果】 院長以下、担当事務局が中心となって、経営改善に取り組み、以下のとおり一定の成果を上げることが出来たとともに、様々な取組を職員参画で進めることで、職員の経営意識向上にも繋げることができた。</p> <p>(主な指標等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医業収益 7,145,709千円 (平成28年度 7,054,928千円)</li> <li>・ 入院単価 50,077円(平成28年度 48,818円)</li> <li>・ 外来単価 11,623円(平成28年度 11,277円)</li> <li>・ 紹介率 51.7%(平成28年度 50%)</li> <li>・ 逆紹介率 37.9%(平成28年度 31.4%) ※逆紹介率は集中的取組で大きく向上 (月単位では最高50.5%(平成30年3月))</li> <li>・ 医療機器等整備 36件 159,049千円(税込)</li> <li>・ 大規模メンテナンス 8件 55,472千円(税込)</li> <li>・ 人件費率改善 (特殊勤務手当見直し、パート医師整理、退職者不補充等)</li> <li>・ 診療圏内競合分析、地域包括ケア病棟設置シミュレーションの実施</li> </ul>

<p>【番号】124【施策体系】Ⅲ 新公立病院改革プランに 基づく取組 (急性期 300 床 2 次救急 病院の維持・発展)</p>	<p>【事業概要】 急性期 300 床 2 次救急病院として維持・継続するために『地域医療構想』及び『新公立病院改革ガイドライン』に対応した「新公立病院改革プラン（平成 28 年～平成 32 年度）」に基づき取組を進めた。</p>
<p>事業費； 1,070,000 千円 財源内訳； 一般会計負担金・補助金 1,070,000 千円</p>	<p>医療体制の強化として、常勤の病理診断医 1 人を確保し、病理診断科及び病理検査室を設置した。更に血管外科、乳腺外科を標榜し 21 診療科とし、脳神経外科においては、t - P A（血栓溶解療法）に対応できる急性期脳梗塞治療の体制を整備した。</p> <p>公立病院として 5 疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）5 事業等（救急、災害、周産期、小児、高齢化による医療ニーズへの対応）に取り組み、地域の医師会、回復期・療養型病院、介護施設等との連携を進め、地域包括ケアシステムにおける急性期病院としての役割を果たすことに努めた。</p> <p>【事業成果】 市立病院として、求められる急性期病院としての役割を主に以下指標等のおり果たしたことで、『住み慣れた地域で生き看取られる暮らし』の実現に向けた地域包括ケアシステムの構築にも寄与し、市民が安心して生活できる環境整備を進めることができた。</p> <p>(主な指標・取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病床利用率 82.3% (平成 28 年度 83.4%)</li> <li>・ 入院延患者数 90,173 人 (平成 28 年度 91,270 人)</li> <li>・ 外来延患者数 208,261 人 (平成 28 年度 210,380 人)</li> <li>・ 紹介率 51.7% (平成 28 年度 50%)</li> <li>・ 逆紹介率 37.9% (平成 28 年度 31.4%)</li> <li>・ 救急搬送患者 3,957 人 (平成 28 年度 3,856 人)</li> <li>・ 小児科 24 時間 365 日不応需の無い救急車受け入れ体制の堅持</li> <li>・ 在宅療養高齢者一次入院支援及び在宅高齢者等支援窓口業務の実施</li> </ul>